

もりや仙一郎便り

県政報告 Vol.84



山形県議会

大型インフラ「県民の機運醸成へ」

2月定例会 9項目を質問

山形県議会2月定例会(2月25日)で代表質問の機会をいただき、県政に対して9つの質問を行いました。今号はその質問内容を抜粋してご紹介します。



ルを実現するということが大事」と答え、昨年、私の質問に対して「県とJR東日本がトンネルの早期事業化とフル規格新幹線を見据えた整備のあり方や財源スキームなどについて検討を進めていくことを要請し、トンネルの事業化に向け、両者で具体的な検討を開始する」と答弁があった。フル規格新幹線を強く標榜し続けることが本県にとって有利なのか。山形県奥羽・羽越新幹線整備実現同盟が設立してから3年近くの月日が流れたが、県の想いと沿線上の市町村や沿線から離れた市町村などで隔たりが

ある。フル規格新幹線の実現に向けた3年の運動を経て、県民の機運醸成を今後どのように展開していくのか。吉村知事 奥羽本線の福島〜米沢間は、全国の鉄道網の中でも最大の難所の一つだ。この区間に全長23キロのトンネルを整備することから、まずはトンネル整備の早期実現に、市町村や議会、産業界の方々と一緒になって力を注いでいきたい。北海道・東北新幹線の安定性向上など、全国新幹線ネットワークの運営にも効果が期待される。こうしたトンネル整備の意義や必要性を踏まえて、親しみやすい府の施策等に対する提形で若い世代の運動への参加拡大を進め、県路線を含む新幹線の整備等について、様々な課題の具体的な検討に向けた政府の調査において、このトンネルの整備を効率的な新幹線整備手法として位置付けるよう、政府に対して要望しているところだ。

山形・庄内空港滑走路延長

フル規格新幹線については、停車駅や並行在来線など様々な課題があるが、奥羽新幹線の整備を見据えながら、まずはトンネル整備の早期実現に、市町村や議会、産業界の方々と一緒になって力を注いでいきたい。山形・庄内空港滑走路500メートル延長の議論がある。山形空港に隣接している東根市、天童市は、強い関心がある。以前、山形空港の整備に向けた新たなポスター・パンフレットの作成や、シンポジウムの開催、看板・動画の製作など、構成する「山形県ラ・フランス振興協議会」で、①大玉で高品質な果実の安定生産、②適期収穫と産地予拡大に取り組み、生産量の確保と価格向上を進めており、協議が整い、昨年11月に登録の申請を行い、現在は登録を見据えたPR活動を準備している。



工事中の天童市道向原1号線

延長した場合に用地の影響を受ける計画が示されたことから、現在の市長とお会いし、これまでの経緯等を説明し、調査・検討に向けての課題などについて意見交換を行っている。また、県から、昨年6月の「平成31年度政府の施策等に対する提案」などを通して、国土交通省から「滑走路延長に係る、1路線50万人以上という目安は、国内線で大型機が必要となる場合の目安であり、インバウンド拡大を目的とした場合の補助要件は無く、費用対効果を厳格に見て判断する」という考え方や、「利用実績を積み上げるのが大事」といった助言を受けた。各市長からは、空港周辺の幹線道路の機能維持、円滑な用地取得、建築物の高さ規制による土地利用への影響などが、現時点で考えられる課題であるとの意見をいただいた。来年度は、このような意見も踏まえ、それぞれの空港を対象に、調査・検討を進めていく。

森谷 山形県は人口減少が進み、裕福な財政状況とは言えない。奥羽・羽越新幹線整備と山形・庄内空港滑走路延長に向けた様々な課題について検討を行い、奥羽・羽越新幹線や山形・庄内空港の滑走路延長の実現に向け、オール山形で取り組みを進めたい。

フル規格新幹線の実現へ向けて

森谷 フル規格新幹線の実現に向けて、知事

は1月の記者会見で「福島〜米沢間」のトンネル整備に関する考案方について記者の質問に「いち早くトンネ

ス」を、農林水産省の地理的表示(GI)取得に向けた検討をしていくことについて、農林水産部長「ラ・フランス」のブランド力の強化については、県、生産者、JA、卸売市場、流通関係者な

ら、まずはトンネル整備の早期実現に、市町村や議会、産業界の方々と一緒になって力を注いでいきたい。山形・庄内空港滑走路500メートル延長の議論がある。山形空港に隣接している東根市、天童市は、強い関心がある。以前、山形空港の整備に向けた新たなポスター・パンフレットの作成や、シンポジウムの開催、看板・動画の製作など、構成する「山形県ラ・フランス振興協議会」で、①大玉で高品質な果実の安定生産、②適期収穫と産地予拡大に取り組み、生産量の確保と価格向上を進めており、協議が整い、昨年11月に登録の申請を行い、現在は登録を見据えたPR活動を準備している。

県土整備部長 県では、空港滑走路の延長について、来年度以降、具体的な調査・検討を進めたいと考えている。

滑走路延長については、地域の環境や、将来の土地利用計画等に大きく影響があるため、調査・検討に先立ち、滑走路を

「山形ラ・フランス」GI取得へブランド力の強化について

森谷 山形県が全国一の産出額を誇る「ラ・フランス」の産出額は、平成21年の39億円から平成29年の57億円まで増加しており、更なる伸びが期待できる。ブランド力強化について

は、私も農協の販売店の担当者や意見を交換したが、首都圏での認知度は高いが、関西以西においては食べ方などを知らず、販売面も課題があるようだ。県では「ラ・フラン

ス」を、農林水産省の地理的表示(GI)取得に向けた検討をしていくことについて、農林水産部長「ラ・フランス」のブランド力の強化については、県、生産者、JA、卸売市場、流通関係者な

ら、まずはトンネル整備の早期実現に、市町村や議会、産業界の方々と一緒になって力を注いでいきたい。山形・庄内空港滑走路500メートル延長の議論がある。山形空港に隣接している東根市、天童市は、強い関心がある。以前、山形空港の整備に向けた新たなポスター・パンフレットの作成や、シンポジウムの開催、看板・動画の製作など、構成する「山形県ラ・フランス振興協議会」で、①大玉で高品質な果実の安定生産、②適期収穫と産地予拡大に取り組み、生産量の確保と価格向上を進めており、協議が整い、昨年11月に登録の申請を行い、現在は登録を見据えたPR活動を準備している。

もりや仙一郎事務所

ご意見を募集しております。FAX・メール・ブログで
こうして欲しい! ココが問題! 改善して欲しい...など 頂けると幸いです。

☎023-651-5539 FAX023-651-5549

〒994-0013 天童市老野森 3丁目 4-17

もりや仙一郎

検索

ホームページ <http://www.10016.jp/>

facebook 友達登録をお願い致します。 QRコードでアクセス

